

松 葉 広 報

第170号

(2025〔令和7〕年度 第1号)

発行 自治会法人松葉町自治会
編集 松葉町自治会広報部
題字 石井志治氏
印刷所 プリンティング山口

会員世帯数 698
賛助会員数 21
(7月1日現在)



世代を超えた交流と 住みよい街・松葉町

会長 馬場 吉博



松葉町の皆様の、ご支援とご協力のおかげで、本年度も引き続き松葉町自治会会長に就任となりました。自治会長をお引き受けしまして、令和4年度から継続して4年目となります。今年度も自治会運営に尽力致しますので、松葉町の皆様も自治会運営にご協力おねがい致します。

さて、自治会役員も新体制となり、納涼大会やレクリエーション大会を通じて松葉町一体となった交流を図り親睦を深め、安心して暮らせる街づくりに一役かいたいと思います。また、松葉町自治会は防犯、防災を他人任せにするのではなく、いつ起きてもおかしくない大地震や、強大化する台風、大雨等の自然災害の増加に対しては、自ら備えるとともに、隣近所のつながりが求められており、その一助として、あいさつ運動を進めて、松葉町全体の防犯、防災に努め安全安心な街づくりを心がけて行きたいと思っています。

また、ここ数年特に、自治会を脱退する会員が増加傾向にあります。退会理由で多い意見が、高齢になったからです。誰もが年を重ね高齢になります。はたして、各自がより暮らしやすくするためには他の選択は無いのでしょうか。高齢になるほど地域との連携や関わりが必要だと思います。皆様も、この地域に大地震が起こったイメージをされると思います。まず自分と家族の身を守った次は、ご近所の助け合いです。自治会はみんなで作るものです。世代を超えた交流と住みよい環境づくりを目標とし、行政とも連携しながら松葉町自治活動を進めていきたいと思っていますので、引き続き松葉町自治活動にご協力よろしくお願いします。

令和7年度 本部役員

会 長	馬場 吉博 (4組)
副 会 長	清水 陽子 (11組)
総 務 部 長	松本 頼和 (4組)
計 算 部 長	岩佐 健 (11組)
監 事	三井 聖子 (22組)
	北村 一美 (21組)
	柳原由記子 (11組)
広 報 部 長	宇田川 功実 (20組)
体 育 部 長	金 慶一 (3組)
文 化 部 長	松本 栄策 (17組)
情 報 宣 伝 部 長	前田 宗幸 (5組)
福 祉 厚 生 部 長	天明 文恒 (14組)
防 犯 防 災 部 長	清水 信夫 (16組)
環 境 整 備 部 長	高橋 啓太 (7組)
会 館 管 理 部 長	郡家 和之 (3組)

令和7年度 主な行事

- 5月25日(日)春の町内清掃
- 6月8日(日)春の松葉町自主防災訓練
- 8月2日(土)納涼大会1日目
- 8月3日(日)納涼大会2日目
- 9月7日(日)秋の松葉町自主防災訓練
- 9月13日(土)光が丘地区ふるさとまつり
- 9月15日(月)敬老事業
- 10月5日(日)レクリエーション
- 11月3日(日)陽光台地区住民の集い
- 11月9日(日)秋の町内清掃
- 12月26日(金)年末警戒パトロール
- 12月27日(土)年末警戒パトロール
- 1月11日(日)どんど焼き
- 3月22日(日)定期総会



令和6年度 松葉町自治会定期総会

総務部長 岩佐 健

桜が満開の3月23日(日)、陽光台小学校体育館にて開催された令和6年度松葉町自治会定期総会へご参加いただき、誠にありがとうございました。

令和7年度の最重要課題は、会員の高齢化と、それに伴う退会者の増加です。国民の五人に一人が後期高齢となる厳しい状況に加え、組役員のなり手不足という喫緊の課題についても議論されました。この状況を乗り越える



令和6年度総会の様子

ためには、役員だけに負担を集中させるのではなく、住民の皆さん一人ひとりが自治会活動に関心を持ち、みんなで支え合うことが何よりも大切だと再認識しました。今後、この課題を打開する具体的な方策を検討し、事業を進めてまいります。松葉町自治会会員の皆様には、自治会活動への、ご理解とご協力を改めてお願い申し上げます。共に力を合わせ、松葉町の未来を築いていきましょう。



自治会加入の メリットって何？

総務部長 岩佐 健

日頃より自治会活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございました。この度、会員の方から、「自治会に入っているメリットがよく分からない。何のために皆さんは自治会に入っているのでしょうか？」というお問合せが寄せられました。これは、他の会員の皆様も疑問に感じられていることかもしれません。そこで今回は、自治会活動の目的や、皆様が自治会に加入することで得られる様々なメリットについて、改めてお伝えしたいと思います。

自治会とは、同じ地域に住む方々が協力して、防災・防犯・環境美化などを行い、地域を住みやすくするための任意団体です。地域に存在する様々な課題は、個人や家庭の力だけでは解決が難しく、自治会はこうした地域全体の共通の課題を会員が力を合わせて自主的に解決していく場であり、心のふれあいの場でもあります。行政だけでは対応が難しくなってきた地域の課題に対して、自治会と行政が協力して、役割を分担しながら、住民が主体となって取り組む必要があります。まず、松葉町自治会の活動内容を簡単に紹介します。①安全安心活動

(防犯灯の設置、夜道の安全を確保・カーブミラーの設置・春と秋の防災訓練・交通安全協会との連携・年末警戒パトロール)②生活環境整備(春と秋の松葉町内清掃・自治会によるひまわり公園の環境整備日常・生活上の環境整備に係る課題を行政に要望する活動)③情報提供、広報活動(回覧板・広報松葉・ラインチャットによる回覧版閲覧)④親睦、交流活動(松葉町納涼大会・秋のレクリエーション・どんど焼き)⑤福祉厚生活動(敬老事業・新生児祝い金)以上5項目を中心に活動し、相模原市と連携して松葉町内の住み良い環境づくりに貢献しています。特に交流活動を通じて、人とのつながりを大切にし、顔見知りが増え、お互いに助け合える松葉町となります。自治会活動は、参加して初めて実感できる価値があります。何かをしてもらうだけでなく、自ら参加して貢献することで、充実感や生きがいを感じる事ができます。皆様の参加が、地域をより良くする力になります。自治会活動を通じて地域に貢献し、やりがいを感じることが、自治会活動の大きな意義の一つだと思います。自治会への加入は強制ではありません。住んで良かったと思える、まちづくりには、皆様の協力が必要です。共に松葉町を住みよい地域にするために、自治会活動に参加協力することが、メリットと感じています。今後も松葉町発展のためにご協力お願いします。

春の松葉町

自主防災訓練

防犯防災部長 清水信夫

6月8日(日) 陽光台小学校にて松葉町自治会自主防災訓練を実施しました。当日は九時二〇分震災発生と想定し、各組長と避難者は、自身と家族の身の安全確認を実施したあと、電気・ガスなどの火元の点検をして、安全確認が出来たら、玄関前に黄色い小旗(安全確認用)掲出し、近隣内を確認しながら陽光台小学校体育館へ避難移動しました。避難者数・家屋等の被害状況を本部役員に報告し、防犯防災



地震体験車・最大震度7を体験



災害時の体験映像・防災注意喚起

部長が被害状況を把握する訓練を実施しました。引き続き、体育館にて、消防職員、消防団、防災協会から本日の防災訓練の説明がありました。訓練内容は、起震車・煙体験。阪神淡路大震災時の防災訓練映像。消火訓練等を順番に実施し、防災訓練を体験しました。また、相模原市でも支援物資等は準備していますが、大震災時は、どこまで行政もかわれるか未知数であり、各個人で、最低限の防災対策と食料等の備蓄をしていただきたいと思います。防災は他人任せにするのではなく、一人一人が意識して実施することであり、その一人一人が災害に対する知識を備えることで、町全体が災害に強くなります。私たちは自身の身の



初期消火訓練・消火器の取り扱い方



煙体験

令和6年度 松葉町
自治会資源回収状況報告

環境整備部長 高橋啓太

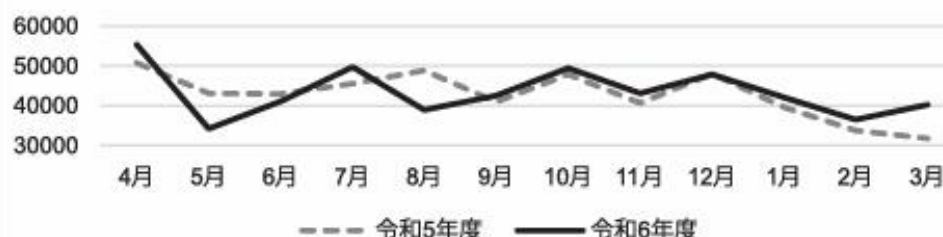
回りを守り、冷静に周りを見渡すことができる意識が大切です。さらに、九月七日(日)に、秋の松葉町自主防災訓練を実施する予定ですので、さらなる参加をお待ちしております。

現在毎週火曜日を自治会資源回収日として、会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。令和6年度の資源回収結果は52万円でした。前年度は51万円でしたので比較すると、若干の増加となりました。今年度は本部役員一同啓蒙活動と共に会員の方々に活動をお願いいただき、より一層のご協力をお願いいたします。また、火曜日に、自宅前に古新聞を出していただくとトイレットペーパーと交換いたしますので、更なるご協力をお願い申し上げます。(トイレットペーパーには読売新聞の広告が入ります。)

令和6年度は資源回収量が前年度より若干増加しましたが、令和元年には資源回収額が66万円を超えていました。10万円近く減少しています。アルミ缶や段ボール、新聞紙や雑誌は、ぜひ火曜日に出して欲しいです。ま

た、紙ごみの中に小さな段ボールや牛乳のパック等ありましたら、燃えるゴミや、金曜日の相模原市の資源回収日には出さなくて、ぜひ火曜日の自治会資源回収日に出して頂けると助かります。雨でも資源回収は実施しますので、今年度も、ご協力よろしくお願いします。

資源回収奨励金推移



ひまわり公園の 環境維持活動

環境整備部長 高橋啓太

ひまわり公園は、現在週4回、日曜日・月曜日・水曜日・金曜日にボランティアさんによる清掃。月2回の各組による輪番清掃。育成会さん、婦人会さん、松寿会さんによる公園花壇管理。など、ひまわり公園は、松葉町自治会と各松葉町地域団体によって維持管理しています。松葉町自治会本部は、公園の備品管理や相模原市への公園管理に関する情報伝達をしています。たとえば、今年度は、藤棚の根元が、かなり傷んでいるので、相模原市の公園課に相談したところ、調査して頂き、



ひまわり公園管理運営委員会とボランティアの方々

その結果、藤棚が倒壊する前に伐採することとなりました。藤の木の根元を修復することは不可能とのことでした。5月には、

藤棚はきれいな花が咲いていましたが、来年は見られない可能性が高いです。植え替えるにしても、ここまで立派に成長するには何年かかるかわかりません。ひまわり公園は公共の施設なので安全第一ですが、少し寂しい感じがします。今後も、相模原市公園課と情報交換しながら、より美しく安全利用可能な公園として維持管理に努めます。皆様もご協力お願いいたします。



5月のひまわり公園



編集後記

自治会活動も各団体と協力しながら任意団体として松葉町が住みやすい街になるように活動していますが、会員数の減少は深刻な問題です。人とのつながりを大切にしながら、自治会員数維持のためにも自治会活動を知ってもらい、今後も継続発行していきたいと思っています。皆様も引き続き自治会活動にご協力お願いいたします。

広報部長 宇田川



藤棚も今年はきれいに咲きましたが...



藤棚の根元はかなり痛んでいます



大歓迎です。ぜひ担ぎ手として松葉町納涼大会と一緒に盛り上げましょう。

8月2日(土)・3日(日)の松葉町納涼大会にて、御神輿を一緒に担いで、松葉町内を練り歩きます。本末神輿を揉む(揉むとは、祭りの際に神輿を大きく揺らして練り歩くこと、神輿への敬意を示すと共に、神輿の霊威を高めるための儀式)人数は少なくとも20名前後、多いところだと30名以上とされ、交代要員を含めると、その3倍の人数は必要とされています。ぜひ今年は派手に松葉町内を神輿で練り歩きたいので、担ぎ手募集します。当日飛び入り参加も

**松葉睦会 納涼大会
最大の見せ場、御神輿
一緒に担ぎたい方集合**

松葉睦会入会希望者は17組・青木まで(連絡先 090-1120-8326)